

| 区分 | 評価指標 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | 前年度比 | 図書館運営全体 | |
|---------|--------------------|---------|---------|---------|------|--|--|
| 図書館運営 | 基本的サービス | | | | | 自己評価 | 外部評価 |
| | 資料購入費:決算数値(千円) | 11,027 | 10,195 | 8,573 | 0.84 | ・資料購入費はシーリング以外に市内図書館設備故障修理のため、全館から補てんしたため減額となった。 ・貸出点数は横ばい。 ・登録者数は減少しているが、新規登録者が微増。 ・入館者数は24.6%増。 | 3 大変評価する。42.9% 2 ある程度評価する。57.1% 1 評価できない。0% ・厳しい財政状況だとは察するが、予算減は何とかならないか。 ・予算を計上する際に設備故障修理費を入れないのか。施設運営には必要な経費である。利用方法は全館補填でも利用のない時は積み立てでも良いと思う。 ・入館者数が24.6%増は評価できる。貸出点数につながってくれば良い。 ・新津図書館に由来しない理由から購入費が減額される中、入館者を一昨年レベルまで回復するなど、全体として大いに評価できるデータとなっている。 ・限られた予算内で工夫して運営している。 |
| | 蔵書点数(点):図書・AV | 167,495 | 171,171 | 173,040 | 1.01 | | |
| | 個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む | 354,559 | 354,248 | 354,799 | 1.00 | | |
| | 個人の登録者数(人) | 11,838 | 12,631 | 11,930 | 0.94 | | |
| | (内新規登録者数) | 1,555 | 1,345 | 1,381 | 1.03 | | |
| 入館者数(人) | 後期 新規 | 180,591 | 144,682 | 180,403 | 1.25 | | |

| 区分 | 評価指標 | H28実績 | H29実績 | H30目標 | H30実績 | 自己評点 | R1目標 | 評価(次年度への展開) | | |
|-----------------|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--|--|--|-------|
| 施策・事業(各図書館) | ネットワークを生かした「課題解決型図書館」 | | | | | 自己評価 | 外部評価 | | | |
| | レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む | 11,705 | 10,625 | 12,000 | 9,692 | 1 | 10,000 | ・レファレンス件数の減少は所蔵調査件数の減少が大きい。利用者自身で検索するケースが増加傾向にある。 ・予約件数は目標値を達成。 | 3 大変評価する。85.7% 2 ある程度評価する。14.3% 1 評価できない。0% | |
| | 個人予約件数(件) | 61,825 | 63,407 | 64,000 | 66,551 | 3 | 67,000 | | | |
| | ビジネス支援サービス相談受付件数(件) | — | — | — | — | — | — | | | |
| | 特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」 | | | | | 自己評価 | 外部評価 | | | |
| | 郷土・行政資料の蔵書冊数(冊) | 15,963 | 16,427 | 16,500 | 17,216 | 3 | 17,250 | ・地域資料に関する情報を積極的に取得することにより、蔵書点数を増加させることができた。 ・貸出点数は目標値に達しなかったが、市民への資料紹介を行うことができた。 | 3 大変評価する。57.1% 2 ある程度評価する。42.9% 1 評価できない。0% ・地域、郷土資料のコレクションで新津図書館らしさを出してほしいと思う。 ・積極的な取得により蔵書数が増加されたことは評価できる。他の図書館に勝るものが多いため市民(学生)への紹介(授業・講演活動)などで強化できるのではと期待している。 ・蔵書も充実し、地域の図書館としてしっかり機能している。 | |
| | 郷土・行政資料の貸出冊数(冊) | 3,259 | 2,943 | 3,500 | 3,181 | 1 | 3,500 | | | |
| | 職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣 | 後期 新規 | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | | | |
| | 公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業 | 後期 新規 | 0 | — | — | — | — | | | |
| | 子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」 | | | | | 自己評価 | 外部評価 | | | |
| | 児童書の貸出冊数(冊) | 95,127 | 92,695 | 93,000 | 94,947 | 3 | 95,000 | ・児童の貸出冊数は、目標値を達成することができた。ブックスタートによる保護者への周知、赤ちゃんタイムの実施などが貸出に結びついていると考えられる。 ・小・中・高等学校への団体貸出冊数は学校図書館活用推進校の指定に左右されたところもあるが、学生の利用状況は学習室は利用しても閲覧室内を探索する姿が見受けられない。受験生は仕方がないとしても中高生が興味を引くような工夫をする必要がある。 | 3 大変評価する。85.7% 2 ある程度評価する。14.3% 1 評価できない。0% ・ヤングアダルトコーナーの配架の工夫(少し囲みぎみにして、椅子を置くなど)をしてはどうだろうか。 ・ブックスタート、赤ちゃんタイムの実施は評価できる。 ・小中高生の利用状況は、学校側の理解を得ることが早道であるが難しい。中高生が興味を引くことを具体化しなければ難しい課題になる。期待している。 ・職場体験参加者が少ないように思う。中央図書館が行っている「子ども司書講座」や子ども向け図書館利用方法等、夏休みを利用して開催してはどうか。 ・目標値を上回り、工夫が見られる。 | |
| | 小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊) | 後期 新規 | 4,209 | 4,181 | 4,300 | 4,072 | 2 | | | 4,300 |
| | 子ども・親子対象事業の参加者数(延人数) | 3,282 | 2,985 | 3,000 | 3,100 | 3 | 3,000 | | | |
| | 職場体験受入人数(人) | 7 | 9 | — | — | — | — | | | |
| | 職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣 | 後期 変更 | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | | | |
| | 公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業 | 後期 新規 | 0 | — | — | — | — | | | |
| | 市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」 | | | | | 自己評価 | 外部評価 | | | |
| | 図書館ボランティア活動者数(延人数) | 556 | 516 | 550 | 494 | 1 | 500 | ・ボランティア活動数は年々減少傾向にある。 ・ボランティアの高齢化や、事情に因り活動継続が困難な場合がある。ボランティア養成講座をとおして読み聞かせボランティア育成に努めたが、応募自体が少なかった。 | 3 大変評価する。14.3% 2 ある程度評価する。85.7% 1 評価できない。0% ・ボランティア減少傾向の中、よく計画されている。 ・養成講座は長い日程より短い集中型の方が参加しやすいのではと考える。 ・ボランティアの意見も必要だと考える。 ・いろいろな場面(学習室、研修室、読み聞かせ、ワークショップ等々)での利用者の声や意見は大いに聞きたいと思う。 ・ボランティアは数なのか、内容なのか評価方法に迷いが見られる。 | |
| | ボランティア団体交流会参加者数(延人数) | 0 | 5 | — | — | — | — | | | |
| | 利用者の意見を把握する機会の設定(回) | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 3 | | | |
| 共催・協働事業の実施件数(件) | 後期 変更 | 17 | 15 | 18 | 15 | 1 | 18 | | | |
| 効率的・効果的な運営(職員) | | | | | 自己評価 | 外部評価 | | | | |
| 研修参加職員数(延人数) | 57 | 61 | 24 | 66 | 3 | 70 | ・司書としての専門的な研修のみでなく、公務員としての資質向上のための研修を受講、実施することができ、日々の職務に活かされている。 | 3 大変評価する。71.4% 2 ある程度評価する。28.5% 1 評価できない。0% ・日々の職務に活かされていることは評価できる。 ・研修内容をどう業務に活かしているのか数値化する必要があるのではないかと考える。 | | |

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った